次世代エネルギー

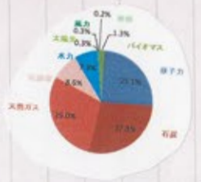
新聞

伊仙町立伊仙小学校
5年 盛田 実夢
5年 時 小春
発行日

進行する地球温暖化の真相

今地球では極端な気温の上昇、強い台風や集中豪雨などの災害の頻発や干ばつ食料危機、海面上昇による居住地の損失が起きています。これらが起こる事を、**「地球温暖化」**といいます。地球温暖化の原因は、**「人間活動による温室効果ガスの増化」**です。18世紀半ばの産業革命以降、人間活による化石燃料の使用や森林の減少などにより大気中の温室効ガスの濃度が急速に増化しました。これにより大気中の温室効ガス強まったことが原因です。

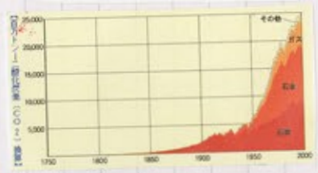
2010年



2020年

日本総合エネルギー統計時系列表

燃料別にみる世界の二酸化炭素排出量



出典

これ以上、地球温暖化を進行させないために次世代エネルギーに切り変えて行くことが大切です。

水素は次世代エネルギーになる？

水素が注目されている理由

①**枯渇しない。**地球上で最も多い元素で枯渇する心配がない。

②**環境に良い。**燃やしたり、燃料電池で利用する際にCO_2を発生させない。

③**貯められる。**液化、水素吸蔵金属、高圧ガスなど様々な形で貯蔵ができ、再エネの課題である不確実性を補うことができる。

など、多くの特長を持つエネルギー源だからです。

水素エネルギーの種類

グリーン水素が一番地球に悪影響を与えないため、グリーン水素に切り変えていくことが地球温暖化対策になると思います。地球にやさしいエネルギーです。

水素エネルギーの利点

・排ガスが出ず、環境にも優しい

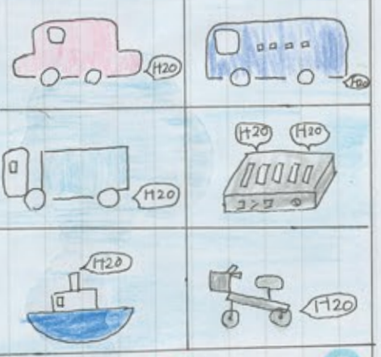
・ユニクロは、水蒸気が出るのでお肉も野菜もジューシーに♡

課題

・値段が高い

・水素ステーションなどで新しく設置するのに時間がかかる

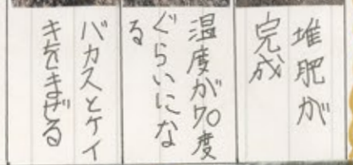
今、実用化されているエネルギー



TOKUNO SHIMA

堆肥センター見学

大量のウンコをかんそうさせる



堆肥が完成

温度が90度ぐらいになる

バカスとケイキをまぜる

100%再利用されていた。

牛の**ウンコ**とサトウキビのしぼりカスは、同じ堆肥になっていることが分かりました。堆肥場でかわかして、2週間ごとに一回、部屋がかわり、その部屋は4つあります。堆肥ができるまでに2ケ月かかるそうです。

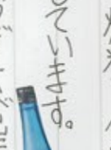
徳之島の未来

起こる野生動物の死亡事故の事です。ロードキルとは道路上で

今徳之島では**ロードキル**や、外来種の生息など沢山の環境問題があります。中でも深刻なのが**ワニ**です。ロードキルは2022年徳之島の発生件数は150件をこえています。そこで徳之島では花徳と浅間線で県で初の侵入防止柵を設置しました。これにより、ロードキルが減るとうれしいです。

海に囲まれた徳之島

地球温暖化により海面上昇が進んでいます。それと同時にゴミ問題も深刻化しています。プラスチックゴミだけでも**5000**トン以上の量があります。毎年**800**トンに及ぶ量が流れ出ていると推定されます。徳之島の海を少し歩くだけでたくさんのゴミが見つかります。このままだと美しい海が消えてしまいます。3Rを意識することや食べ残しをしないことだと思います。一人だけが取り組むのではなくみんなで取り組むことが必要だと思いました。



伊仙町ではどうする？牛のウンコ

ここ徳之島伊仙町では畜産と闘牛がさかんで牛は身近な生き物です。そこで牛の**ウンコ**について調べてみました。

人為的に排出される温室効果ガスのうち**6%**は牛がしめるそうです。でも**11.5%**は、家畜に由来し、そのうち**6%**は牛乳や牛肉は私たちの食卓に欠かせない存在です。そこで牛の**ウンコ**やションコを再生可能エネルギーにする技術をアメリカの燃料電池会社が発しました。それは、牛の**ウンコ**とションコに含まれるメタンをバイオガスに変え電気、科学的なプロセスにより、再生可能エネルギーにするというものです。

Q&Aコーナー

Q.バカスは月何トン排出されますか。

A.月2400トン　一日80トンです。

Q.バカスはどうするのですか。

A.全て再利用しています。畑の堆肥として50%、場の発電として50%です。

Q.SDGsを意識した取り組みはありますか。

A.再利用する時に燃料を使わず、再利用したり、バカスを名刺に変えたりしています。

Q.ネットでバカスからつくれる物が書いてあったのですができますか。

A.やろうと思えばできますが徳之島には場が無いので出来ません。

Q.バカスで身近に私たちが再利用できますか。

A.できることとして、畑に堆肥として利用ぐらいです。

Q.バカスで今後どんな事が出来ると思いますか。

A.今はバガスを炭にしたりバイオマス発電に使う取り組みは始まっています。

さとうきびの搾り滓は再利用できるのか

ここ徳之島ではサトウキビを使った産業が盛んです。特に、黒糖作りが盛んに行われていますが、黒糖作りを行うとサトウキビのしぼりかす(以下バカス)が発生します。今日はそのバカスの再利用方法について紹介します。

1、紙として活用する。

2、エコ容器として活用する。

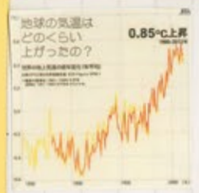
3、健康食品として活用する。

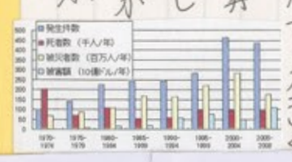
4、土壌改良剤として活用する。

5、水質改善材として活用する。

気温の変化

2100年ごろの日本の真夏の気温は何度になるか知っていますか？対策を何もしないと、最高気温は、**40.8**度、真夏日は連続**50**日、熱帯夜は連続**60**日になると予想されています。世界では、1880年から2012年までで**0.85**度上昇しています。日本は、1898年から2019年の100年の間に**1.24**度も平均気温が上昇しています。日本は世界に比べて「大きく気温が上昇」しています。気温の上昇にともない災害も多発しています。下の図では、1974年から1994年までに災害件数が2倍になっています。





原発ってなに？

みなさんは、**原発**とはなにか知っていますか。原発とは、熱エネルギーで高圧の水蒸気を作り蒸気タービンおよびこれと同軸接続された発電機を回転させて発電させる**発電方法**の事です。この原発にはメリットとデメリットがあります。

メリット

燃料の安定供給が可能

発電時にCO_2を排出しない

電気料金の安定に役立つ

デメリット

放射線の厳重な管理が必要

使用済燃料の処理

まとめ

伊仙町には、牛が700頭、人口が6000人、人より牛が多いことも知りました。その牛のウンコは伊仙町では100%再利用されていました。バカスで発電し、工場の電気に使われていたことにはおどろきました。次の機会には南西糖業の発電装置を見てみたいです。

このまま何も対策しないと気温が高くなりすぎることや災害がさらに増えることを知り怖くなりました。でも水素エネルギーなど新たなエネルギー開発も進んでいる事も知りました。新聞作りを通して環境の事を知ることが出来ました。私たちが今出来る事は、3Rを意識して毎日を過ごすことや食べ残しをしないことだと思います。一人だけが取り組むのではなくみんなで取り組むことが必要だと思いました。

実夢

私は、このかべ新聞コンテストのおかげでSDGsについてよく知ることが出来ました。この学びを生かしたいです。協力してくださったみなさんありがとうございました。

小春

私は、初めて、環境の事や徳之島の事について調べました。毎日調べていくうちに、身の回りの資源がとても大切だという事に気づかされました。これからも自然を大切にして行きたいです。

出典　IDEAS FOR GOOD https://ideasforgood.jp　気象庁 https://www.data.jma.go.jp　日財団 nippon-foudation.or.jp　金沢機工株式会社 kanazawakiko.jp　東京新聞 tokyo-np.co.jp　関西電力グループ kepco.co.jp